

令和7年度

道路台帳測量用代価表

令和7年12月17日

東京都建設局道路管理部

主な改定内容

1. 3級基準点設置（コンクリート杭設置）
 - ① 材料費の労務費に対する割合を改定した。
2. 4級基準点設置（コンクリート杭設置）
 - ① 材料費の労務費に対する割合を改定した。
3. 道路台帳横断測量
 - ① 歩掛を改定した。
4. 道路台帳平面図作成（補正）
 - ① 機械経費の労務費に対する割合を改定した。
5. 道路台帳調書作成（補正）歩車道の区分あり、同 構造上複雑な場合
 - ① 歩掛を改定した。
6. 地下埋設物台帳平面図及び調書作成
 - ① 歩掛を改定した。
7. 地下埋設物台帳平面図及び調書補正（新設・撤去）
 - ① 材料費の労務費に対する割合を改定した。
8. 地下埋設物台帳平面図及び調書補正（残置）
 - ① 歩掛を改定した。
9. 区域の確認作業・測量（容易）
 - ① 歩掛を改定した。
10. 境界点測量
 - ① 機械経費の労務費に対する割合を改定した。
11. 道路敷地構成図及び調書作成
 - ① 歩掛を改定した。
12. 道路台帳削除（A）、同（B）
 - ① 歩掛を改定した。
13. 基準点成果改定（改測・GNSS）
 - ① 材料費の労務費に対する割合を改定した。

建設局積算基準を適用する主な工種等について

I 旅費交通費・打合せ協議

○「積算基準（調査・設計編）」参照（測量業務委託 P.1-1～13、同積算システム入力表 P.2）

施工単価コード	施工単価名称	単位	ページ
S09 80120	打合せ	式	2

II 安全費

現道上で測量作業を行うにあたり、交通整理等が必要な場合、次式により計上する。その他現場条件により安全対策上必要な費用は、積上げ計算により危険度に応じて算出する。

$$\text{安全費} = \{ (\text{直接測量費}) - (\text{往復経費}) - (\text{成果検定費等}) \} \times (\text{安全費率})$$

	大市街地	市街地甲	市街地乙・都市近郊	その他	交通整理等不要
主として現道上	4.0 %	3.5 %	3.0 %	2.5 %	0.0 %

III 基準点測量

○「積算基準（調査・設計編）」参照（測量業務委託 p.1-14～31、同積算システム入力表 p.3～9）

施工単価コード	施工単価名称	単位	ページ
S09 80140	2級基準点測量	点	3
S09 80160	3級基準点測量	点	4
S09 80180	4級基準点測量	点	5
S09 80242	基準点設置（地下埋設）	点	8
S09 80262	基準点設置（屋上埋設）	点	9

※1）3級基準点測量にコンクリート杭を設置する場合は「V09 01100 3級基準点設置（コンクリート杭設置）」を併用する。埋設形式は「東京都道公共基準点管理保全要綱」P.11による。

※2）4級基準点測量にコンクリート杭を設置する場合は「V09 01150 4級基準点設置（コンクリート杭設置）」を併用する。埋設形式は「積算基準（調査・設計編）」P.1-12による。

IV 道路台帳縦断測量

○「積算基準（調査・設計編）」参照（測量業務委託 p.1-56,57、同積算システム入力表 p.22）

施工単価コード	施工単価名称	単位	ページ
S09 81400	縦断測量	km	22

※ 上記代価はkm当りの数量算出なので、計上数量に注意すること。

V 作業計画（道路敷地調査測量）

○「積算基準（調査・設計編）」参照（測量業務委託 P.1-86、同積算システム入力表 P.35）

施工単価コード	施工単価名称	単位	ページ
S09 81720	作業計画	業務	35

道路台帳測量用代価一覧表

代価コード	施工単価名称	単位	適用	改定内容	ページ
V09 01100	3級基準点設置（コンクリート杭設置）	点		経費改定	3
V09 01150	4級基準点設置（コンクリート杭設置）	点		経費改定	4
V09 01200	道路台帳横断測量	箇所		歩掛改定	5
V09 01300	道路台帳平面図作成（補正）	m ²	図化（補正）面積	経費改定	6
V09 01410	道路台帳調書作成（補正）歩車道の区分あり	m	道路中心延長	歩掛改定	8
V09 01420	道路台帳調書作成（補正）歩車道の区分なし	m	道路中心延長		9
V09 01430	道路台帳調書作成（補正）構造等複雑な場合	m	道路中心延長	歩掛改定	10
V09 02110	地下埋設物台帳平面図及び調書作成	m ²		歩掛改定	11
V09 02200	地下埋設物横断測量	箇所			12
V09 02300	地下埋設物台帳調書新規作成	m ²			13
V09 02421	地下埋設物台帳平面図及び調書補正（新設・撤去）	m	埋設物延長	経費改定	14
V09 02431	地下埋設物台帳平面図及び調書補正（残置）	m	埋設物延長	歩掛改定	15
V09 02500	試験掘成果に基づく図化作業	箇所			16
V09 03200	資料調査	m	道路中心延長		17
V09 03310	区域の確認作業・測量（容易）	m	道路中心延長	歩掛改定	18
V09 03320	区域の確認作業・測量（困難）	m	道路中心延長		19
V09 03400	境界点測量	m	道路中心延長	経費改定	20
V09 03500	道路敷地構成図及び調書作成	m	道路中心延長	歩掛改定	21
V09 03700	登記用図面作成	筆			22
V09 03810	境界点埋標工	本			23
V09 03820	境界鋳設置工	枚			24
V09 04200	道路台帳平面図製図費（A）	m	道路中心延長		25
V09 04300	道路台帳平面図製図費（B）	m	道路中心延長		26
V09 04400	地下埋設物台帳平面図製図費	m	道路中心延長		27
V09 04450	道路敷地構成図製図費	m	道路中心延長		28
V09 04600	道路台帳変換製図費（A）	m	道路中心延長		29
V09 04900	道路台帳変換製図費（B）	m	道路中心延長		30
V09 04910	道路台帳削除（A）	m	道路中心延長	歩掛改定	31
V09 04920	道路台帳削除（B）	m	道路中心延長	歩掛改定	32
V09 05200	基準点成果改定（改測・GNSS）	点		経費改定	33
V09 05250	基準点成果改定（改測・TS）	点			34
V09 05500	公共基準点維持管理調査（3級基準点）	点			35
V09 06100	道路台帳調書の電子化	m			36

3級基準点設置（コンクリート杭設置）

施工単価コード	V09 01100
---------	-----------

施工単価名称	3級基準点設置（コンクリート杭設置）
--------	--------------------

【代価表】

（新点10点当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	1.0	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	5.0	〃	
3	RB007450X00	測量補助員		人	5.0	〃	
4	TN606000X02	金属標		個	10.0	基礎単価	
5		機械経費		%	2.0	$\Sigma(①\sim③)$	
6		材料費		%	9.0	$\Sigma(①\sim③)$	
7		通信運搬費等		%	2.0	$\Sigma(①\sim③)$	
8		標準直接作業費				$\Sigma(①\sim⑦)$	
9		直接作業費		%	$(1+H1)\times 100$	⑧	下記表参照
10	単位当り			点		⑨/10	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1点当り算出の場合）
 旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim③)$] $\times(1+H1)\div 10$
 安全費の対象額＝直接作業費[⑩]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）
 精度管理費の対象額＝(直接人件費[$\Sigma(①\sim③)$]+機械経費[⑤]) \times (精度管理費係数) $\times(1+H1)\div 10$
 精度管理費係数＝0.09
- ・ 直接作業費は下記表より選択した変化率より算出する。

地域・地形による変化率（H1）

地域／地形	平地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.1			
市街地甲	+0.1			
市街地乙	0.0	0.0		
都市近郊	0.0	0.0		
耕地	0.0	-0.1	+0.1	
原野	0.0	-0.1	0.0	+0.1
森林	+0.1	0.0	+0.2	+0.3

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、「3級基準点測量」に併せコンクリート杭を設置する場合に適用する。
 - ・ 埋設形式については「東京都道公共基準点管理保全要綱」P.11による。

4 級基準点設置（コンクリート杭設置）

施工単価コード	V09 01150
---------	-----------

施工単価名称	4 級基準点設置（コンクリート杭設置）
--------	---------------------

【代価表】

（新点10点当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	1.0	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	5.0	〃	
3	RB007450X00	測量補助員		人	5.0	〃	
4		機械経費		%	2.0	$\Sigma(①\sim③)$	
5		材料費		%	9.0	$\Sigma(①\sim③)$	
6		通信運搬費等		%	2.0	$\Sigma(①\sim③)$	
7		標準直接作業費				$\Sigma(①\sim⑥)$	
8		直接作業費		%	$(1+H1)\times 100$	⑦	下記表参照
9	単位当り			点		⑧/10	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1点当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim③)$] $\times(1+H1)\div 10$

安全費の対象額＝直接作業費[⑨]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）

精度管理費の対象額＝(直接人件費[$\Sigma(①\sim③)$]+機械経費[④]) \times (精度管理費係数) $\times(1+H1)\div 10$

精度管理費係数＝0.09

- ・ 直接作業費は下記表より選択した変化率より算出する。

地域・地形による変化率（H1）

地域／地形	平地	丘陵地	低山地	高山地
大 市 街 地	+0.1			
市 街 地 甲	+0.1			
市 街 地 乙	0.0	0.0		
都 市 近 郊	0.0	0.0		
耕 地	0.0	-0.1	+0.1	
原 野	0.0	-0.1	0.0	+0.1
森 林	+0.1	0.0	+0.2	+0.3

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、「4 級基準点測量」に併せコンクリート杭を設置する場合に適用する。

- ・ 埋設形式については「積算基準（調査・設計編）」P.1-12による。

道路台帳横断測量

施工単価コード	V09 01200
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳横断測量
--------	----------

【代価表】

(50箇所当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	5.8	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	7.7	〃	
3	RB007400X00	測量助手		人	6.3	〃	
4	RB007450X00	測量補助員		人	0.2	〃	
5		機械経費		%	2.5	$\Sigma(①\sim④)$	
6		材料費		%	2.5	$\Sigma(①\sim④)$	
7		標準直接作業費				$\Sigma(①\sim⑥)$	
8		直接作業費		%	$(0.9 + \Sigma H1\sim H3) \times 100$	⑦	下記表参照
9	単位当り			箇所		⑧/50	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁(5桁目以降切り捨て)とする。(※ 各1箇所当り算出の場合)
 旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$] $\times(0.9+H1+H2+H3)\div 50$
 安全費の対象額＝直接作業費[⑨] (※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照)
 精度管理費の対象額＝(直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$]+機械経費[⑤]) \times (精度管理費係数) $\times(0.9+H1+H2+H3)\div 50$
 精度管理費係数＝0.10
- ・ 直接作業費は下記表より選択した変化率より算出する。

【歩掛】

(50箇所当り)

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
観 測	内					
	外		4.7	4.8	4.6	0.1
横断面図作成	内		0.2	2.1	1.7	0.1
	外					
点検整理	内		0.9	0.8		
	外					
	内		1.1	2.9	1.7	0.1
	外		4.7	4.8	4.6	0.1
	計		5.8	7.7	6.3	0.2

地域・地形による変化率 (H1)

地域／地形	平地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+1.0			
市街地甲	+0.4			
市街地乙	+0.3	+0.5		
都市近郊	+0.2	+0.3		
耕地	0.0	+0.1	+0.2	
原野	+0.2	+0.3	+0.4	+0.5
森林	+0.3	+0.4	+0.6	+0.7

交通量による変化率 (H2)

3,000台以上/12hr	+0.2	かなり影響を受ける
1,000～3,000台/12hr	+0.1	ある程度影響を受ける
1,000台未満/12hr	0.0	影響を受けやすい

曲線数による変化率 (H3)

単曲線換算曲線数	0～1	2～3	4～5
変化率	-0.1	0.0	+0.1

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は標準的な道路台帳作成（補正）時に適用することとし、複雑な構造の場合など横断測量を行う断面が多くなる場合は、別途積算基準（調査・設計編）「路線測量」の使用を検討する。
- 2 道路台帳平面図への横断測量箇所などの記入を含む。

道路台帳平面図作成（補正）

施工単価コード	V09 01300
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳平面図作成（補正）
--------	---------------

【代価表】

（図化（補正）面積 m²当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.3×z	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	9.2×z	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	17.4×z	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	8.2×z	〃	
5		機械経費		%	5.0	Σ(①～④)	
6		材料費		%	2.0	Σ(①～④)	
7		通信運搬費等		%	0.5	Σ(①～④)	
8		標準直接作業費				Σ(①～⑦)	
9		直接作業費		%	(1+H1)×100	⑧	下記表参照
10	単位当り			m ²		⑨/図化面積	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m²当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～④)]×(1+H1)÷図化面積

安全費の対象額＝直接作業費[⑩]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～④)]+機械経費[⑤])×(精度管理費係数)×(1+H1)÷図化面積

精度管理費係数＝0.05

- ・ 直接作業費は下記表より選択した変化率より算出する。

- ・ zは下記数式より算出

$$z = \{718.95 \times \text{「図化（補正）面積」} \div 1,000,000 + 28.105\} \div 100 \quad (\text{小数3位四捨五入})$$

【歩掛】

（図化（補正）面積 m²当り）

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
作 業 計 画	内	0.3	0.2	0.2		
	外					
細 部 測 量	内			3.1		
	外		6.1	9.4	8.2	
数 値 編 集	内		1.5	3.5		
	外					
数値地形図データ ファイルの作成	内		1.4	1.2		
	外					
	内	0.3	3.1	8.0		
	外		6.1	9.4	8.2	
	計	0.3	9.2	17.4	8.2	

地域・地形による変化率（H1）

地域／地形	平地	丘陵地	低山地	高山地
大市街地	+0.8			
市街地甲	+0.7			
市街地乙	+0.5	+0.8		
都市近郊	+0.2	+0.5		
耕地	0.0	+0.2	+0.5	
原野	+0.1	+0.3	+0.7	+1.0
森林		+0.4	+1.4	+1.7

（注）地域、地形が混在する場合の変化率は、各区分の作業量を用いた加重平均値を小数2位（小数3位四捨五入）まで算出する。

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、T S等を用いた道路台帳平面測量に適用する。
 - ・ 基準点測量（基準点の設置）は、別途計上する。
 - ・ C A Dの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
 - ・ 平面図補正作業の場合は、既存（従前作成時）の平板素図等を使用できる。
- 2 本歩掛に、成果図面の材料費は含まない。

【道路台帳平面図作成（補正）対象面積標準算出例】

1. 測量幅員の算出

1) 道路台帳平面図作成の場合

- ① 道路区域幅員＋区域外両側 5m（市街地等標準的な場所）
- ② 道路区域幅員＋区域外両側必要な範囲（山岳地域等地域地形が特定できる範囲を図化する）

2) 道路台帳平面図補正の場合

- ① 両側歩道部の補正 → 両側歩道幅員＋区域外両側 5m
- ② 片側歩道部の補正 → 片側歩道幅員＋区域外片側 5m
- ③ 中央分離帯部の補正 → 中央分離帯の幅
- ④ 植樹帯部の補正 → 歩道幅員
- ⑤ その他、適宜現地状況に合わせ算出する。

2. 図化（補正）面積の算出

上記測量幅員×道路中心延長

道路台帳調書作成（補正）歩車道の区分あり

施工単価コード	V09 01410
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳調書作成（補正）歩車道の区分あり
--------	----------------------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.1	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	3.7	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	12.8	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	2.1	〃	
5	RB007450X00	測量補助員		人	0.2	〃	
6		直接作業費				Σ(①～⑤)	
7	単位当り			m		⑥/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～⑤)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～⑤)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.09

【歩掛】

(1,000m当り)

作業区分	内外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
求積図作成	内		0.9	3.2	0.6	
	外					
延長面積測定	内		0.8	3.5	0.6	
	外		0.1	0.1	0.1	0.1
調書作成	内		1.2	4.7	0.4	
	外					
成果等の整理	内	0.1	0.7	1.3	0.4	0.1
	外					
計	内	0.1	3.6	12.7	2.0	0.1
	外		0.1	0.1	0.1	0.1
	計	0.1	3.7	12.8	2.1	0.2

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、道路台帳調書（実延長面積調書及び歩道幅員別調書）の作成又は補正作業に適用する。

- ・ 「歩車道区分」には、片側歩道・ガードレール等による準歩道も含む。
- ・ 「道路現況調査表」及び「道路施設現況台帳」の作成を含む。

道路台帳調書作成（補正）歩車道の区分なし

施工単価コード	V09 01420
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳調書作成（補正）歩車道の区分なし
--------	----------------------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.1	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	2.9	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	9.8	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	1.9	〃	
5	RB007450X00	測量補助員		人	0.1	〃	
6		直接作業費				Σ(①～⑤)	
7	単位当り			m		⑥/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～⑤)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～⑤)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.09

【歩掛】

(1,000m当り)

作業区分	内外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
求積図作成	内		0.7	2.7	0.5	
	外					
延長面積測定	内		0.7	2.3	0.5	
	外		0.1	0.1	0.1	0.1
調書作成	内		0.9	3.5	0.5	
	外					
成果等の整理	内	0.1	0.5	1.2	0.3	
	外					
計	内	0.1	2.8	9.7	1.8	
	外		0.1	0.1	0.1	0.1
	計	0.1	2.9	9.8	1.9	0.1

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、道路台帳調書（実延長面積調書）の作成又は補正作業に適用する。

- ・ 片側歩道・ガードレール等による準歩道がある場合は「歩車道の区分あり」を適用する。
- ・ 「道路現況調査表」及び「道路施設現況台帳」の作成を含む。

道路台帳調書作成（補正）構造等複雑な場合

施工単価コード	V09 01430
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳調書作成（補正）構造等複雑な場合
--------	----------------------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.1	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	4.5	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	14.0	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	2.0	〃	
5		直接作業費				Σ(①～④)	
6	単位当り			m		⑤/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～④)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～④)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.09

【歩掛】

(1,000m当り)

作業区分	内外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
求積図作成	内		1.2	4.1	0.5	
	外					
延長面積測定	内		1.2	3.5	0.7	
	外		0.1	0.1	0.1	
調書作成	内		1.3	4.9	0.3	
	外					
成果等の整理	内	0.1	0.7	1.4	0.4	
	外					
計	内	0.1	4.4	13.9	1.9	
	外		0.1	0.1	0.1	
	計	0.1	4.5	14.0	2.0	

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、道路台帳調書（実延長面積調書及び歩道幅員別調書）の作成又は補正作業に適用する。

- ・ 「構造等複雑な場合」とは、立体構造や複雑な曲線等（単曲線は含まず）現況が複雑な場合をいう。
- ・ 「道路現況調査表」及び「道路施設現況台帳」の作成を含む。

地下埋設物台帳平面図及び調書作成

施工単価コード	V09 02110
---------	-----------

施工単価名称	地下埋設物台帳平面図及び調書作成
--------	------------------

【代価表】

(100,000㎡当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	1.7	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	17.0	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	38.2	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	30.6	〃	
5	RB007450X00	測量補助員		人	5.2	〃	
6		材料費		%	0.4	Σ(①～⑤)	
7		標準直接作業費				Σ(①～⑥)	
8		直接作業費		%	(1+H1)×100	⑦	下記表参照
9	単位当り			㎡		⑧/100,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1㎡当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～⑤)]×(1+H1)÷100,000

安全費の対象額＝直接作業費[⑨]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～⑤)])×(精度管理費係数)×(1+H1)÷100,000

精度管理費係数＝0.02

- 直接作業費は下記表より選択した変化率より算出する。

【歩掛】

(100,000㎡当り)

作 業 区 分	内	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
	外					
地下埋設物台帳 平面図及び調書作成	内	1.7	15.9	34.2	24.7	0.8
	外		1.1	4.0	5.9	4.4
	計	1.7	17.0	38.2	30.6	5.2

【材料費の構成】

名称	規格	単位	数量	備考
地下埋設物台帳平面図下図	A 1 カラーC A D出力	式	1	

地域による変化率（H1）

地域	変化率
大 市 街 地	+1.0
市 街 地 甲	+0.4
市 街 地 乙	+0.3
都 市 近 郊	+0.2

【歩掛適用範囲】

本工種は、地下埋設物台帳平面図及び調書を新たに作成する場合に適用する。

- 現地調査（外業）に用いる雑器材の損料を含む。
- 地下埋設物台帳平面図下図（A 1 カラーC A D出力）を含む。
- 成果図面の材料費は含まない。
- C A Dの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。

地下埋設物横断測量

施工単価コード	V09 02200
---------	-----------

施工単価名称	地下埋設物横断測量
--------	-----------

【代価表】

(100箇所当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	1.7	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	9.5	〃	
3	RB007400X00	測量助手		人	9.5	〃	
4	RB007450X00	測量補助員		人	13.0	〃	
5		機械経費		%	2.5	$\Sigma(①\sim④)$	
6		材料費		%	1.5	$\Sigma(①\sim④)$	
7		標準直接作業費				$\Sigma(①\sim⑥)$	
8		直接作業費		%	$(1+H1)\times 100$	⑦	下記表参照
9	単位当り			箇所		⑧/100	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1箇所当り算出の場合）
 旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$] $\times(1+H1)\div 100$
 安全費の対象額＝直接作業費[⑨]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）
 精度管理費の対象額＝(直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$]+機械経費[⑤]) \times (精度管理費係数) $\times(1+H1)\div 100$
 精度管理費係数＝0.10
- ・ 直接作業費は下記表より選択した変化率より算出する。

【歩掛】

(100箇所当り)

作 業 区 分	内 外	測量主任 技 師	測 量 技 師	測 量 技 師 補	測 量 測 量 手	測 量 測 量 手 補 助 員
地下埋設物横断測量	内		0.7	3.0	3.0	
	外		1.0	6.5	6.5	13.0
	計		1.7	9.5	9.5	13.0

地域による変化率 (H1)

地域	変化率
大 市 街 地	+1.0
市 街 地 甲	+0.4
市 街 地 乙	+0.3
都 市 近 郊	+0.2

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、地下埋設物の調査のための横断測量作業に適用する。
 - ・ 地表及び地下埋設物の種別、管径、条数、土被り等を調査、測量する。
 - ・ 各占用者の管理図閲覧、現地調査を含む。
 - ・ 横断図の作成は、埋設物が輻輳している等必要な箇所について行う。
- 2 横断図作成
 - ・ 横断測量は道路延長10kmに30箇所を標準とする。
 - ・ 地下埋設物台帳平面図への横断測量箇所の記入を含む。

地下埋設物台帳調書新規作成

施工単価コード	V09 02300
---------	-----------

施工単価名称	地下埋設物台帳調書新規作成
--------	---------------

【代価表】

(100,000㎡当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.2	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	1.3	"	
3	RB007400X00	測量助手		人	3.4	"	
4		標準直接作業費				Σ(①～③)	
5		直接作業費		%	(1+H1)×100	④	下記表参照
6	単位当り			㎡		⑤/100,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1㎡当り算出の場合）
 旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～③)]×(1+H1)÷100,000
 精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～③)])×(精度管理費係数)×(1+H1)÷100,000
 精度管理費係数＝0.02
- ・ 直接作業費は下記表より選択した変化率より算出する。

【歩掛】

(100,000㎡当り)

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補助	測量助手	測量補助員
計 画 準 備	内	0.1	0.1	0.2		
	外					
調 書 作 成	内		1.0	3.0		
	外					
点 検 整 理	内	0.1	0.2	0.2		
	外					
	内	0.2	1.3	3.4		
	外					
	計	0.2	1.3	3.4		

地域による変化率（H1）

地域	変化率
大 市 街 地	+1.0
市 街 地 甲	+0.4
市 街 地 乙	+0.3
都 市 近 郊	+0.2

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、既存の地下埋設物台帳平面図から新規に調書のみを作成する際に適用する。

地下埋設物台帳平面図及び調書補正（新設・撤去）

施工単価コード	V09 02421
---------	-----------

施工単価名称	地下埋設物台帳平面図及び調書補正（新設・撤去）
--------	-------------------------

【代価表】

（埋設物延長 1,000m 当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.1	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	0.9	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	1.1	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	1.0	〃	
5		材料費		%	8.0	$\Sigma(①\sim④)$	
6		直接作業費				$\Sigma(①\sim⑤)$	
7	単位当り			m		⑥/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$]/1,000

安全費の対象額＝直接作業費[⑦]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）

精度管理費の対象額＝(直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$]) \times (精度管理費係数)/1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

（埋設物延長 1,000m 当り）

作 業 区 分	内外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
新設物件記入	内	0.1	0.8	1.0	0.9	
撤去物件抹消	外		0.1	0.1	0.1	
	計	0.1	0.9	1.1	1.0	

【材料費の構成】

名称	規格	単位	数量	備考
地下埋設物台帳平面図下図	A 1 カラーC A D出力	式	1	

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、地下埋設物台帳平面図及び調書の補正作業に適用する。
 - ・ 現地調査（外業）に用いる雑器材の損料を含む。
 - ・ 地下埋設物台帳平面図下図（A 1 カラーC A D出力）を含む。
 - ・ 成果図面の材料費は含まない。
 - ・ 同一占用位置での新設、撤去（管の取り替え）の場合には、撤去延長は計上しない。
 - ・ C A Dの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
- 2 調査検討
 - ・ 占用者が提出するしゅん功図と地下埋設物台帳平面図との照合、検討をする。
 - ・ 占用者の管理図の閲覧を含む。
- 3 新設物件記入・撤去物件抹消
 - ・ 新設管路等の線引き、旗上げ、必要事項の記入を行う。
 - ・ 撤去管路等及び付属する旗上げを消去する。
 - ・ 地下埋設物横断面図の補正を含む。

地下埋設物台帳平面図及び調書補正（残置）

施工単価コード	V09 02431
---------	-----------

施工単価名称	地下埋設物台帳平面図及び調書補正（残置）
--------	----------------------

【代価表】

（埋設物延長 1,000m 当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.1	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	0.3	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	0.5	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	1.0	〃	
5		直接作業費				Σ(①～④)	
6	単位当り			m		⑤/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～④)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～④)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

（埋設物延長 1,000m 当り）

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
残 置 物 件 記 入	内	0.1	0.3	0.4	0.9	
	外			0.1	0.1	
	計	0.1	0.3	0.5	1.0	

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、地下埋設物台帳平面図及び調書の補正作業に適用する。
 - ・ 現地調査（外業）に用いる雑器材の損料を含む。
 - ・ 成果図面の材料費は含まない。
 - ・ C A Dの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
- 2 調査検討
 - ・ 占有者が提出するしゅん功図と地下埋設物台帳平面図との照合、検討をする。
 - ・ 占有者の管理図の閲覧を含む。
- 3 残置物件記入
 - ・ 位置の明記、旗上げ、必要事項（種類、形状）の記入を行う。
 - ・ 地下埋設物横断図の補正を含む。

試験掘成果に基づく図化作業

施工単価コード	V09 02500
---------	-----------

施工単価名称	試験掘成果に基づく図化作業
--------	---------------

【代価表】

(10箇所当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007300X00	測量技師補		人	0.3	基礎単価	
2		直接作業費				①	
3	単位当り			箇所		②/10	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1箇所当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[①]÷10

精度管理費の対象額＝(直接人件費[①])×(精度管理費係数)÷10

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

(10箇所当り)

作 業 区 分	内	測量主任	測 量 技 師	測 量 技 師 補 助	測 量 手 補 助 員
	外	技 師			
図 化 作 業	内			0.3	
	外				
	計			0.3	

【歩掛適用範囲】

本工種は、試験掘成果に基づき、試験掘の位置を地下埋設物台帳平面図に記入する作業に適用する。

資料調査

施工単価コード	V09 03200
---------	-----------

施工単価名称	資料調査
--------	------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007300X00	測量技師補		人	7.2	基礎単価	
2	RB007400X00	測量助手		人	7.4	"	
3		機械経費		%	1.0	$\Sigma(①\sim②)$	
4		材料費		%	1.0	$\Sigma(①\sim②)$	
5		直接作業費				$\Sigma(①\sim④)$	
6	単位当り			m		⑤/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁(5桁目以降切り捨て)とする。(※ 各1m当り算出の場合)

旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim②)$]/1,000

安全費の対象額＝直接作業費[⑥] (※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照)

【歩掛】

(1,000m当り)

作業区分	内 外	測量主任 技師	測量技 師	測量技 師補	測量助 手	測量補 助員
公図等の転写	内			0.8	0.8	
	外			0.6	0.6	
地積測量図転写	内			0.4	0.6	
	外			0.8	0.8	
土地登記記録調査	内			1.2	1.2	
	外			0.6	0.6	
権利者確認 調査(当初)	内			1.4	1.4	
	外			0.4	0.4	
公図等転写 連続図作成	内			1.0	1.0	
	外					
	内			4.8	5.0	
	外			2.4	2.4	
	計			7.2	7.4	

【歩掛適用範囲】

1 本工種は、道路敷地調査測量の資料調査に適用する。

2 公図等の転写

・ 法務局出張所(登記所)備付け地図(公図)の転写を行う。(必要とする場合は関係市町村役場の備付け課税台帳附属地図等の転写を行う。)

3 地積測量図転写

・ 法務局出張所(登記所)備付けの地積測量図の転写を行う。

4 土地登記記録調査

・ 法務局出張所(登記所)等において必要地番の土地登記記録の閲覧、謄写、地上権等の調査を行う。

5 権利者確認調査(当初)

・ 登記名義人の所在の特定(相続が発生している場合には相続人の有無の確認まで)を行う。

・ 区域の確認に必要な関係資料(告示、丈量図、境界図、確定図等)の調査を行う。

・ 建設事務所保管図書、区市町村役場保管図書、公文書館保管図書等における調査を行う。

6 公図等転写連続図作成

・ 転写した地図(公図)の位置関係を整合させ、連続図を作成し、町名、地番、地目、地積及び土地所有者名等の記入を行う。

区域の確認作業・測量（容易）

施工単価コード	V09 03310
---------	-----------

施工単価名称	区域の確認作業・測量（容易）
--------	----------------

【代価表】

（1,000m当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.4	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	4.0	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	4.4	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	4.1	〃	
5	RB007450X00	測量補助員		人	1.8	〃	
6		機械経費		%	2.5	$\Sigma(①\sim⑤)$	
7		材料費		%	0.5	$\Sigma(①\sim⑤)$	
8		直接作業費				$\Sigma(①\sim⑦)$	
9	単位当り			m		⑧/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim⑤)$]/1,000

安全費の対象額＝直接作業費[⑨]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）

精度管理費の対象額＝(直接人件費[$\Sigma(①\sim⑤)$]+機械経費[⑥]) \times (精度管理費係数)/1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

（1,000m当り）

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
区域検討作業（現地実測・資料検討）	内	0.3	1.3	1.2	0.5	
	外	0.1	1.3	1.6	1.9	1.1
区域の確認測量	内			0.1		
	外		1.4	1.5	1.7	0.7
	内	0.3	1.3	1.3	0.5	
	外	0.1	2.7	3.1	3.6	1.8
	計	0.4	4.0	4.4	4.1	1.8

【歩掛適用範囲】

1 本工種は、道路敷地調査測量の道路区域境界を検討し確認する作業のうち、道路区域が明確で、確認及び判定作業が容易な場合に適用する。

- ・ 告示図書・丈量図等に座標値データが存在する場合等。
- ・ 境界標設置は含まない。

2 区域の検討作業

- ・ 現地を実測し、道路の構造物（縁石、側溝その他）に実測値を与える。
- ・ 収集した資料及び現地の実測により、道路を構成する敷地（国有地、公有地、敷地民有地等）、道路敷と隣接土地との境界、道路区域線等について道路台帳平面図上で検討する。
- ・ 地形地物の小規模補正及び町丁名の変更等の記入を行う。

3 区域の確認測量

- ・ 予定道路区域線を基に、現地に仮境界点を標示する。
- ・ コンクリート境界標杭の設置可否の確認等、細部測量を行う。

区域の確認作業・測量（困難）

施工単価コード	V09 03320
---------	-----------

施工単価名称	区域の確認作業・測量（困難）
--------	----------------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	2.3	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	7.6	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	8.3	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	8.1	〃	
5	RB007450X00	測量補助員		人	2.8	〃	
6		機械経費		%	2.5	Σ(①～⑤)	
7		材料費		%	0.5	Σ(①～⑤)	
8		直接作業費				Σ(①～⑦)	
9	単位当り			m		⑧/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～⑤)]÷1,000

安全費の対象額＝直接作業費[⑨]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～⑤)]+機械経費[⑥])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

(1,000m当り)

作 業 区 分	内 外	測量主任 技 師	測 量 技 師	測 量 技 師 補	測 量 助 手	測 量 補 助 員
区域検討作業（現地 実測・資料検討）	内	0.6	2.0	2.0	1.3	
	外	0.5	2.3	2.6	3.0	1.3
区域の確認測量	内		0.2	0.2	0.1	
	外	1.2	3.1	3.5	3.7	1.5
	内	0.6	2.2	2.2	1.4	
	外	1.7	5.4	6.1	6.7	2.8
	計	2.3	7.6	8.3	8.1	2.8

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、道路敷地調査測量の道路区域境界を検討し確認する作業のうち、敷民及び未分筆のものが著しく多く、道路区域の確認及び判定作業が困難な場合に適用する。
 - ・ 告示図書・丈量図等に座標値データが無い場合等。
 - ・ 境界標設置は含まない。
- 2 区域の検討作業
 - ・ 現地を実測し、道路の構造物（縁石、側溝その他）に実測値を与える。
 - ・ 収集した資料及び現地の実測により、道路を構成する敷地（国有地、公有地、敷地民有地等）、道路敷と隣接土地との境界、道路区域線等について道路台帳平面図上で検討する。
 - ・ 地形地物の小規模補正及び町丁名の変更等の記入を行う。
- 3 区域の確認測量
 - ・ 予定道路区域線を基に、現地に仮境界点を標示する。
 - ・ コンクリート境界標杭の設置可否の確認等、細部測量を行う。

境界点測量

施工単価コード	V09 03400
---------	-----------

施工単価名称	境界点測量
--------	-------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	4.2	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	4.2	〃	
3	RB007400X00	測量助手		人	4.2	〃	
4	RB007450X00	測量補助員		人	2.8	〃	
5		機械経費		%	3.5	$\Sigma(①\sim④)$	
6		材料費		%	2.0	$\Sigma(①\sim④)$	
7		直接作業費				$\Sigma(①\sim⑥)$	
8	単位当り			m		⑦/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$]/1,000

安全費の対象額＝直接作業費[⑧]（※ 安全費の対象額に乗じる安全費率はP.1表参照）

【歩掛】

(1,000m当り)

作 業 区 分	内	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
	外					
境 界 点 測 量	内		1.4	1.4	1.4	
	外		2.8	2.8	2.8	2.8
	計		4.2	4.2	4.2	2.8

【歩掛適用範囲】

1 本工種は、道路敷地調査測量の境界点測量作業に適用する。

- ・ 境界標設置後、境界点の点間距離・道路区域幅員を直接測定し、座標値による判定を行う。
- ・ 未分筆の敷地民有地等についての一筆測量を含む。

道路敷地構成図及び調書作成

施工単価コード	V09 03500
---------	-----------

施工単価名称	道路敷地構成図及び調書作成
--------	---------------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.1	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	4.0	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	4.4	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	3.3	〃	
5	RB007450X00	測量補助員		人	0.1	〃	
6		直接作業費				Σ(①～⑤)	
7	単位当り			m		⑥/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～⑤)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～⑤)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

(1,000m当り)

作業区分	内外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
道路敷地構成図作成	内		2.0	2.7	2.3	
	外					
道路敷地調書作成	内	0.1	2.0	1.7	1.0	0.1
	外					
	内	0.1	4.0	4.4	3.3	0.1
	外					
	計	0.1	4.0	4.4	3.3	0.1

【歩掛適用範囲】

- 本工種は、道路敷地調査測量による道路敷地構成図及び調書の作成作業に適用する。
 - ・ 道路台帳平面図への補正及び記入を含む。（道路区域線、区域点、基準点等）
 - ・ C A Dの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
- 本歩掛に、成果図面の材料費は含まない。

登記用図面作成

施工単価コード	V09 03700
---------	-----------

施工単価名称	登記用図面作成
--------	---------

【代価表】

(30筆当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007300X00	測量技師補		人	1.2	基礎単価	
2		直接作業費				①	
3	単位当り			筆		②/30	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1筆当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費(①)÷30

精度管理費の対象額＝(直接人件費(①))×(精度管理費係数)÷30

精度管理費係数＝0.025

【歩掛】

(30筆当り)

作業区分	内	測量主任技師	測量技師	測量技師補助	測量手	測量補助員
	外					
登記用図面作成	内			1.2		
	外					
	計			1.2		

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、道路敷地調査測量に伴い、分筆等を要する土地について、登記用図面（地積測量図、土地所在図）を作成する場合に適用する。

境界点埋標工

施工単価コード	V09 03810
---------	-----------

施工単価名称	境界点埋標工
--------	--------

【代価表】

(1本当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	TA038001X08	境界杭設置	コンクリート製 根巻基礎なし	本	下記計算式 参照		
2	表-1	材料	表-1	個	1.0		
3		直接作業費				Σ(①~②)	
4	単位当り			本		③/1	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 1本当り算出の場合）
安全費の対象額＝直接作業費[④]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）
- ・ 境界杭設置数量の計算式：数量＝（1+S/100）

加算率（S）

工 種	施工規模		
	30本以上	10本以上30本未満	10本未満
境界杭設置工	0	20	30

【表-1】単価コード表

規 格		単価コード
鉄筋コンクリート境界杭ブロック	120×120×900 [A]	TE141700X08
鉄筋コンクリート境界杭ブロック	キャップ付120×120×900 [B1又はC1]	TE141800X08
鉄筋コンクリート境界杭ブロック	キャップ付100×100×900 [B2又はC2]	TE141900X01
鉄筋コンクリート境界杭ブロック	キャップ付120×120×600	TN606300X01

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、測点（変化点、他の公共物との交会点等）にコンクリート杭を設置する場合に適用する。
 - ・ 床掘り及び検測を含む。
 - ・ 残土並びに廃材処分は含まないので別途計上する。

境界鋳設置工

施工単価コード	V09 03820
---------	-----------

施工単価名称	境界鋳設置工
--------	--------

【代価表】

(1枚当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	TA038111X08	境界鋳設置	金属製	枚	下記計算式 参照		
2	TN606200X01	道路境界鋳	50×50 脚長150	個	1.0		
3		直接作業費				Σ(①～②)	
4	単位当り					③/1	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 1枚当り算出の場合）
安全費の対象額＝直接作業費[④]（※ 安全費の対象額に乗じる安全費率はP.1表参照）
- ・ 境界鋳設置数量の計算式：数量＝（1+S/100）

加算率（S）

工 種	施工規模		
	30枚以上	10枚以上30枚未満	10枚未満
境界鋳設置工	0	20	30

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、測点（変化点、他の公共物との交会点等）にコンクリート杭が設置できない場合に適用する。
 - ・ 穿孔、据付及び検測を含む。

道路台帳平面図製図費（A）

施工単価コード	V09 04200
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳平面図製図費（A）
--------	---------------

【代価表】

（1,000m当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	1.0	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	2.4	〃	
3	RB007400X00	測量助手		人	2.8	〃	
4	RB007450X00	測量補助員		人	0.1	〃	
5		直接作業費				Σ(①～④)	
6	単位当り			m		⑤/1,000	有効数字4桁 (5桁目を降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目を降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～④)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～④)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

（1,000m当り）

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
台帳スキャナータiffデータ作成	内		0.1	0.1	0.2	
	外					
CADデータ作成	内		0.9	2.1	2.4	0.1
tiffデータトレース	外					
台帳図枠作成	内			0.2	0.2	
	外					
	内		1.0	2.4	2.8	0.1
	外					
	計		1.0	2.4	2.8	0.1

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、既存の道路台帳平面図の一部又は全部をCADデータ化する場合において、原図を新たにスキャニングしたのちCADによるトレースを行い作成する場合に適用する。

- ・ スキャニング、トレース、検査、印刷、注記等一切を含む。
- ・ CADの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
- ・ 「道路台帳平面図作成（補正）」には道路台帳平面図の製図を含むため、本歩掛は計上しない。
- ・ 一図郭の中で、「道路台帳平面図作成（補正）」による補正を行わない範囲のCAD化を行う場合、本歩掛は補正を行わない範囲についてのみ計上する。

- 2 本歩掛に、成果図面の材料費は含まない。

道路台帳平面図製図費（Ｂ）

施工単価コード	V09 04300
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳平面図製図費（Ｂ）
--------	---------------

【代価表】

（1,000m当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	0.9	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	2.1	〃	
3	RB007400X00	測量助手		人	2.4	〃	
4	RB007450X00	測量補助員		人	0.1	〃	
5		直接作業費				Σ(①～④)	
6	単位当り			m		⑤/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～④)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～④)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

（1,000m当り）

作 業 区 分	内	測 量 主 任 技 師	測 量 技 師	測 量 技 師 補 助	測 量 手 補 助 員	
	外					
C A D デ ー タ 作 成 tiff デ ー タ ト レ ース	内		0.9	2.1	2.4	0.1
	外					
	計		0.9	2.1	2.4	0.1

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、既存の道路台帳平面図の一部又は全部をC A Dデータ化する場合において、原図をスキャニングしたデータがあり、C A Dによるトレースのみを行い作成する場合に適用する。
 - ・ 台帳図枠作成、トレース、検査、印刷、注記等一切を含む。
 - ・ C A Dの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
 - ・ 「道路台帳平面図作成（補正）」には、道路台帳平面図の製図を含むため、本歩掛は計上しない。
 - ・ 一図郭の中で、「道路台帳平面図作成（補正）」による補正を行わない範囲のC A D化を行う場合、本歩掛は補正を行わない範囲についてのみ計上する。
- 2 本歩掛に、成果図面の材料費は含まない。

地下埋設物台帳平面図製図費

施工単価コード	V09 04400
---------	-----------

施工単価名称	地下埋設物台帳平面図製図費
--------	---------------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	1.0	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	2.2	〃	
3	RB007400X00	測量助手		人	2.6	〃	
4	RB007450X00	測量補助員		人	0.1	〃	
5		直接作業費				Σ(①～④)	
6	単位当り			m		⑤/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～④)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～④)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

(1,000m当り)

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
台帳スキャナータiffデータ作成	内		0.1	0.1	0.2	
	外					
CADデータ作成	内		0.9	2.1	2.4	0.1
tiffデータトレース	外					
	内		1.0	2.2	2.6	0.1
	外					
	計		1.0	2.2	2.6	0.1

【歩掛適用範囲】

1 本工種は、既存の地下埋設物台帳平面図の一部又は全部をCADデータ化する場合において、道路台帳平面図のCADデータがあり、地下埋設物台帳図データをトレースし作成する場合に適用する。

- ・ スキャニング、トレース、検査、印刷、注記等一切を含む。
- ・ CADの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
- ・ 「地下埋設物台帳平面図及び調書作成」には、地下埋設物台帳平面図の製図を含むため、本歩掛は計上しない。
- ・ 一図郭の中で、「地下埋設物台帳平面図及び調書補正」による補正を行わない範囲のCAD化を行う場合、本歩掛は補正を行わない範囲についてのみ計上する。
- ・ 道路台帳平面図がCAD化されていない場合は、別途「道路台帳平面図（A）」又は「同（B）」を計上する。

2 本歩掛に、成果図面の材料費は含まない。

道路敷地構成図製図費

施工単価コード	V09 04450
---------	-----------

施工単価名称	道路敷地構成図製図費
--------	------------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	1.0	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	2.2	〃	
3	RB007400X00	測量助手		人	2.6	〃	
4	RB007450X00	測量補助員		人	0.1	〃	
5		直接作業費				Σ(①～④)	
6	単位当り			m		⑤/1,000	有効数字4桁 (5桁目を降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目を降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～④)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～④)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

(1,000m当り)

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
台帳スキャナータiffデータ作成	内		0.1	0.1	0.2	
	外					
CADデータ作成	内		0.9	2.1	2.4	0.1
tiffデータトレース	外					
	内		1.0	2.2	2.6	0.1
	外					
	計		1.0	2.2	2.6	0.1

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、既存の道路敷地構成図の一部又は全部をCADデータ化する場合において、道路台帳平面図のCADデータがあり、道路敷地構成図データをトレースし作成する場合に適用する。
 - ・ スキャニング、トレース、検査、印刷、注記等一切を含む。
 - ・ CADの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
 - ・ 「道路敷地構成図及び調書作成」には、道路敷地構成図の製図を含むため、本歩掛は計上しない。
 - ・ 道路台帳平面図がCAD化されていない場合は、別途「道路台帳平面図（A）」又は「同（B）」を計上する。
- 2 本歩掛に、成果図面の材料費は含まない。

道路台帳変換製図費（A）

施工単価コード	V09 04600
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳変換製図費（A）
--------	--------------

【代価表】

（1,000m当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	0.9	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	2.1	〃	
3	RB007400X00	測量助手		人	2.4	〃	
4	RB007450X00	測量補助員		人	0.1	〃	
5		直接作業費				Σ(①～④)	
6	単位当り			m		⑤/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～④)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～④)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

（1,000m当り）

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
S X F (P 2 1)	内		0.9	2.1	2.4	0.1
データファイル作成	外					
	計		0.9	2.1	2.4	0.1

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、一図郭における各道路台帳図（道路台帳平面図、地下埋設物台帳平面図、道路敷地構成図）いずれかの既設CAD化されたデータをSXF（P21）形式に編集する場合に適用する。

- ・ SXF（P21）形式へのデータ編集、検査、注記等一切を含む。

- ・ CADの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。

- 2 積算にあたっては、各道路台帳図（道路台帳平面図、地下埋設物台帳平面図、道路敷地構成図）の、それぞれの延長を合算し計上する。

道路台帳変換製図費（Ｂ）

施工単価コード	V09 04900
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳変換製図費（Ｂ）
--------	--------------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	2.8	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	2.2	〃	
3	RB007400X00	測量助手		人	6.8	〃	
4		直接作業費				Σ(①～③)	
5	単位当り			m		④/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～③)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～③)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

(1,000m当り)

作 業 区 分	内	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
	外					
S X F (P 2 1) データファイル作成	内		2.8	2.2	6.8	
	外					
	計		2.8	2.2	6.8	

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、一図郭において道路台帳図（道路台帳平面図、地下埋設物台帳平面図、道路敷地構成図）の全てが既設CAD化されている状態から、S X F（P 2 1）形式に編集する場合に適用する。

- ・ S X F（P 2 1）形式へのデータ編集、検査、注記等一切を含む。
- ・ C A Dの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。

道路台帳削除（A）

施工単価コード	V09 04910
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳削除（A）
--------	-----------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.2	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	3.2	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	6.9	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	4.1	〃	
5	RB007450X00	測量補助員		人	0.1	〃	
6		直接作業費				Σ(①～⑤)	
7	単位当り			m		⑥/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～⑤)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～⑤)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

(1,000m当り)

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
図 面 削 除	内	0.1	1.0	1.4	1.8	0.1
	外					
道 路 台 帳 調 書	内		1.6	4.6	1.5	
削 除 ・ 編 集	外					
地下埋設物台帳調書	内	0.1	0.6	0.9	0.8	
削 除 ・ 編 集	外					
	内	0.2	3.2	6.9	4.1	0.1
	外					
	計	0.2	3.2	6.9	4.1	0.1

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、一図郭におけるSXF（P21）から道路台帳平面図、地下埋設物台帳平面図及びその調書を部分的に削除する場合に適用する。

- ・ データ編集、検査、注記等一切を含む。
- ・ CADの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
- ・ 実延長面積調書、歩道幅員別調書、求積図（原図）を確認し、削除・編集する（実延長調書作成ツールによる修正も含む）。
- ・ 地下埋設物台帳調書を確認し、削除・編集する。
- ・ 「道路現況調査表」及び「道路施設現況台帳」の作成も含む。

道路台帳削除（Ｂ）

施工単価コード	V09 04920
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳削除（Ｂ）
--------	-----------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	0.2	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	3.7	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	7.5	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	5.1	〃	
5	RB007450X00	測量補助員		人	0.1	〃	
6		直接作業費				Σ(①～⑤)	
7	単位当り			m		⑥/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[Σ(①～⑤)]÷1,000

精度管理費の対象額＝(直接人件費[Σ(①～⑤)])×(精度管理費係数)÷1,000

精度管理費係数＝0.02

【歩掛】

(1,000m当り)

作 業 区 分	内 外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
図 面 削 除	内	0.1	1.5	2.1	2.8	0.1
(敷地構成図調書含む)	外					
道 路 台 帳 調 書	内		1.6	4.5	1.5	
削 除 ・ 編 集	外					
地下埋設物台帳調書	内	0.1	0.6	0.9	0.8	
削 除 ・ 編 集	外					
	内	0.2	3.7	7.5	5.1	0.1
	外					
	計	0.2	3.7	7.5	5.1	0.1

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、一図郭におけるSXF（P21）から道路台帳平面図、地下埋設物台帳平面図、道路敷地構成図及びその調書を部分的に削除する場合に適用する。

- ・ データ編集、検査、注記等一切を含む。
- ・ CADの仕様は、「道路台帳平面図等の電子納品の手引」による。
- ・ 実延長面積調書、歩道幅員別調書、求積図（原図）を確認し、削除・編集する（実延長調書作成ツールによる修正も含む）。
- ・ 地下埋設物台帳調書を確認し、削除・編集する。
- ・ 道路敷地構成図調書を確認し、削除・編集する。
- ・ 「道路現況調査表」及び「道路施設現況台帳」の作成も含む。

基準点成果改定（改測・GNSS）

施工単価コード	V09 05200
---------	-----------

施工単価名称	基準点成果改定（改測・GNSS）
--------	------------------

【代価表】

（10点当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	3.5	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	11.0	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	19.0	〃	
4	RB007450X00	測量補助員		人	10.5	〃	
5		機械経費		%	9.5	$\Sigma(①\sim④)$	
6		材料費		%	2.0	$\Sigma(①\sim④)$	
7		通信運搬費等		%	1.5	$\Sigma(①\sim④)$	
8		直接作業費				$\Sigma(①\sim⑦)$	
9	単位当り			点		⑧/10	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

・次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※各1点当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$] $\div 10$

安全費の対象額＝直接作業費[⑨]（※安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）

精度管理費の対象額＝(直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$]+機械経費[⑤]) \times (精度管理費係数) $\div 10$

精度管理費係数＝0.09

【歩掛】

（10点当り）

作業区分	内外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量補助員	測量補助員
作業計画	内	1.5	2.5	2.0		
	外					
観測	内					
	外		5.0	12.0		10.5
計算整理	内	2.0	3.5	5.0		
	外					
	内	3.5	6.0	7.0		
	外		5.0	12.0		10.5
	計	3.5	11.0	19.0		10.5

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、改測（GNSS）による都道2級基準点の成果改定に適用する。
- 2 成果品は「測量委託標準仕様書」（東京都建設局）に準ずることとする。

基準点成果改定（改測・T S）

施工単価コード	V09 05250
---------	-----------

施工単価名称	基準点成果改定（改測・T S）
--------	-----------------

【代価表】

（20点当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007100X00	測量主任技師		人	3.0	基礎単価	
2	RB007200X00	測量技師		人	10.5	〃	
3	RB007300X00	測量技師補		人	11.5	〃	
4	RB007400X00	測量助手		人	10.5	〃	
5		機械経費		%	2.5	$\Sigma(①\sim④)$	
6		材料費		%	1.0	$\Sigma(①\sim④)$	
7		通信運搬費等		%	1.5	$\Sigma(①\sim④)$	
8		直接作業費				$\Sigma(①\sim⑦)$	
9	単位当り			点		⑧/20	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1点当り算出の場合）

旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$]/20

安全費の対象額＝直接作業費[⑨]（※ 安全費の対象額に乘じる安全費率はP.1表参照）

精度管理費の対象額＝(直接人件費[$\Sigma(①\sim④)$]+機械経費[⑤]) \times (精度管理費係数)/20

精度管理費係数＝0.09

【歩掛】

（20点当り）

作業区分	内外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
作業計画	内	2.0	2.0	2.0		
	外					
観測	内					
	外		5.5	5.5	8.0	
計算整理	内	1.0	3.0	4.0	2.5	
	外					
	内	3.0	5.0	6.0	2.5	
	外		5.5	5.5	8.0	
	計	3.0	10.5	11.5	10.5	

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、改測（T S）による都道3級基準点の成果改定に適用する。
- 2 成果品は「測量委託標準仕様書」（東京都建設局）に準ずることとする。

公共基準点維持管理調査（3級基準点）

施工単価コード	V09 05500
---------	-----------

施工単価名称	公共基準点維持管理調査（3級基準点）
--------	--------------------

【代価表】

（10点当り）

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	0.3	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	0.3	〃	
3		機械経費		%	1.5	$\Sigma(①\sim②)$	
4		直接作業費				$\Sigma(①\sim③)$	
5	単位当り			点		④/10	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※1点当り算出の場合）

$$\text{旅費交通費の対象額} = \text{直接人件費}[\Sigma(①\sim②)] \div 10$$

【歩掛】

（10点当り）

作 業 区 分	内	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
	外					
現 地 踏 査	内					
	外		0.3	0.3		
	計		0.3	0.3		

【歩掛適用範囲】

- 1 本工種は、公共基準点（3級基準点）の亡失等現況調査を行う「公共基準点維持管理調査」に適用する。
 - ・ 旅費交通費は、現地状況により別途計上する。
- 2 作業内容
 - ・ 配点図、既存の点の記等をもとに公共基準点標の現地踏査を行い、亡失、破損等の状況を調査する。
 - ・ 既存の点の記の写しに記された引照点を実測し、実測した数値を点の記に赤書する。
 - ・ 調査結果に基づき、「公共基準点管理表」（エクセル表形式）を更新する。
 - ・ 調査結果に基づき、配点図及び平均図を更新する。
 - ・ 公共基準点標全点（亡失点においては公共基準点標があったと考えられる箇所）について写真撮影（近接及び周辺状況）を行う。
- 3 成果品
 - ・ 公共基準点管理表
 - ・ 既存の点の記の写し（引照点の実測結果を赤書したもの）
 - ・ 公共基準点標の現況写真
 - ・ 作業状況写真
 - ・ 基準点配点図
 - ・ 基準点平均図

道路台帳調書の電子化

施工単価コード	V09 06100
---------	-----------

施工単価名称	道路台帳調書の電子化
--------	------------

【代価表】

(1,000m当り)

番号	単価コード	名称	規格	単位	数量	単価	備考
1	RB007200X00	測量技師		人	0.4	基礎単価	
2	RB007300X00	測量技師補		人	1.0	"	
3	RB007400X00	測量助手		人	1.0	"	
4		直接作業費				$\Sigma(①\sim③)$	
5	単位当り			m		④/1,000	有効数字4桁 (5桁目以降切り捨て)

- ・ 次の対象額の端数処理は、有効数字4桁（5桁目以降切り捨て）とする。（※ 各1m当り算出の場合）
旅費交通費の対象額＝直接人件費[$\Sigma(①\sim③)$]/1,000

【歩掛】

(1,000m当り)

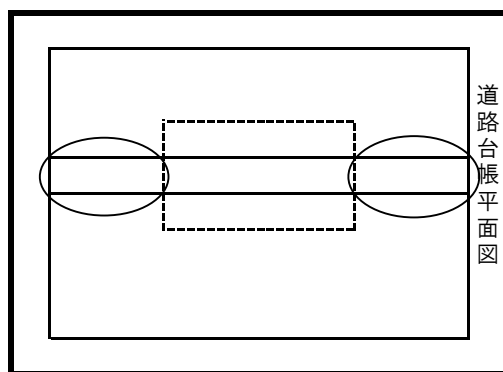
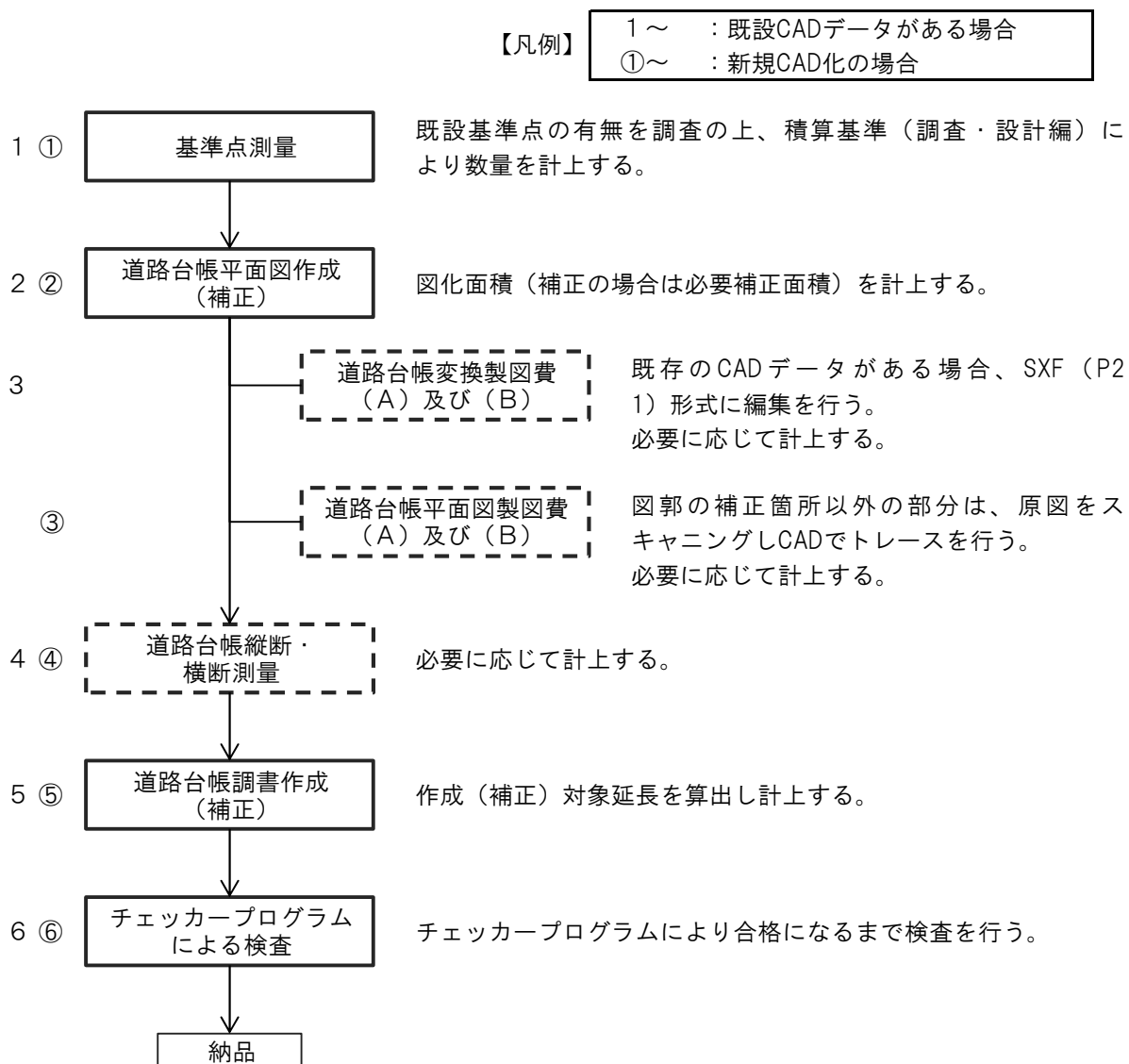
作業区分	内外	測量主任技師	測量技師	測量技師補	測量助手	測量補助員
ツールによる台帳データ作成	内		0.4	0.9	0.9	
	外					
求積図	内			0.1	0.1	
スキニング	外					
	内		0.4	1.0	1.0	
	外					
	計		0.4	1.0	1.0	

【歩掛適用範囲】



- 1 本工種は、「実延長調書作成ツール（Microsoft Accessで作成したツール）」による道路台帳調書データの入力及び、求積図のスキニングによる道路台帳調書の電子化に適用する。
- 2 作業内容
 - ・ 対象路線の実延長面積調書、歩道幅員別調書、求積図（原図）を確認し、都が貸与する「実延長調書作成ツール（Microsoft Accessで作成したツール）」により道路台帳調書データを入力する。
 - ・ 対象路線の求積図をスキニングし、監督員の指示する統一的なファイル名で保存する。
- 3 成果品
 - ・ 道路台帳調書入力済データ（Microsoft Access）
 - ・ 各実延長面積調書の出力図（ツールによる印刷機能で出力）
 - ・ 各歩道幅員別調書の出力図（ツールによる印刷機能で出力）
 - ・ 求積図スキニング（PDF）
 - ・ 上記、電子データ一式

参 考

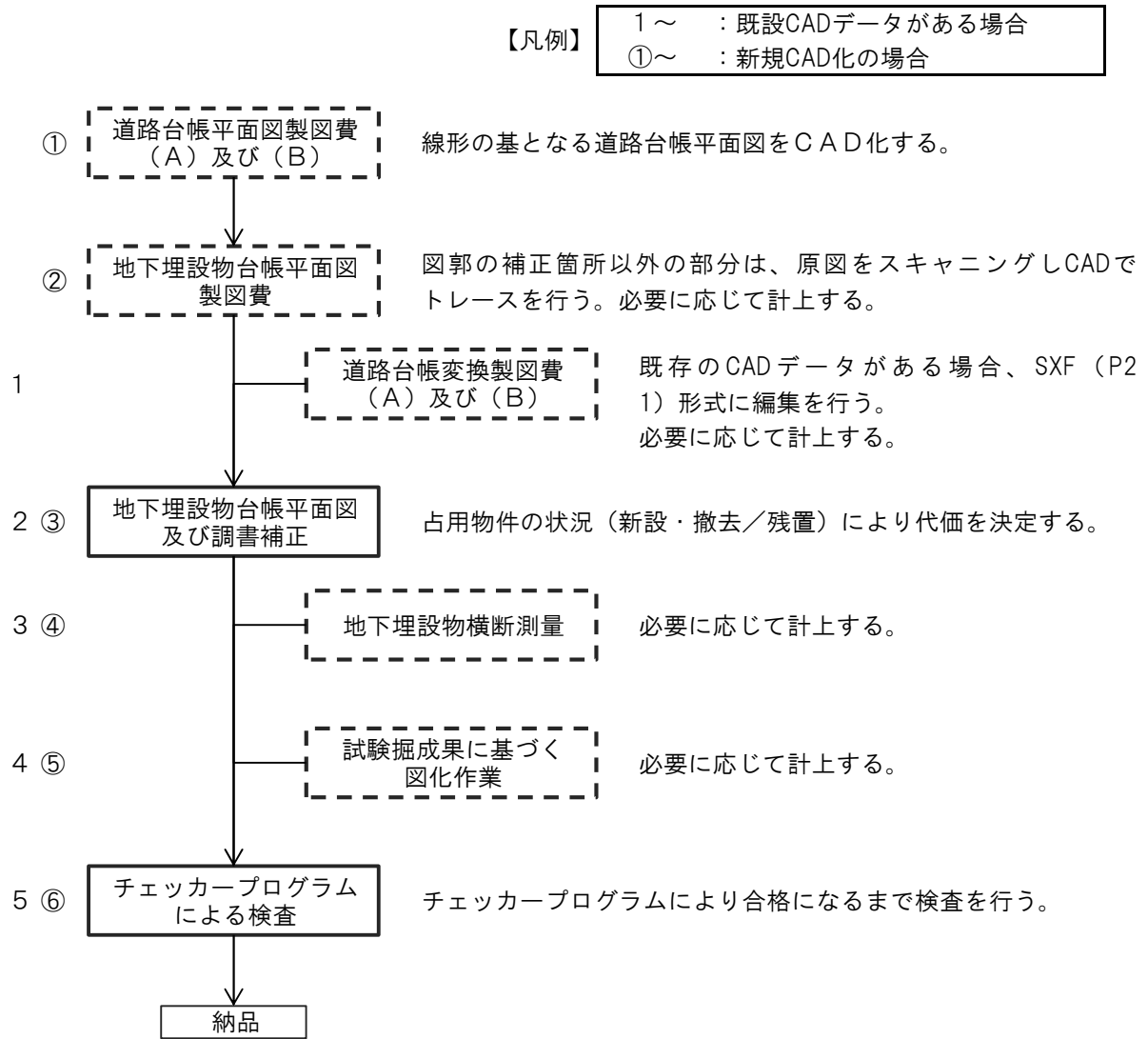
1. 道路台帳平面図関係フローチャート



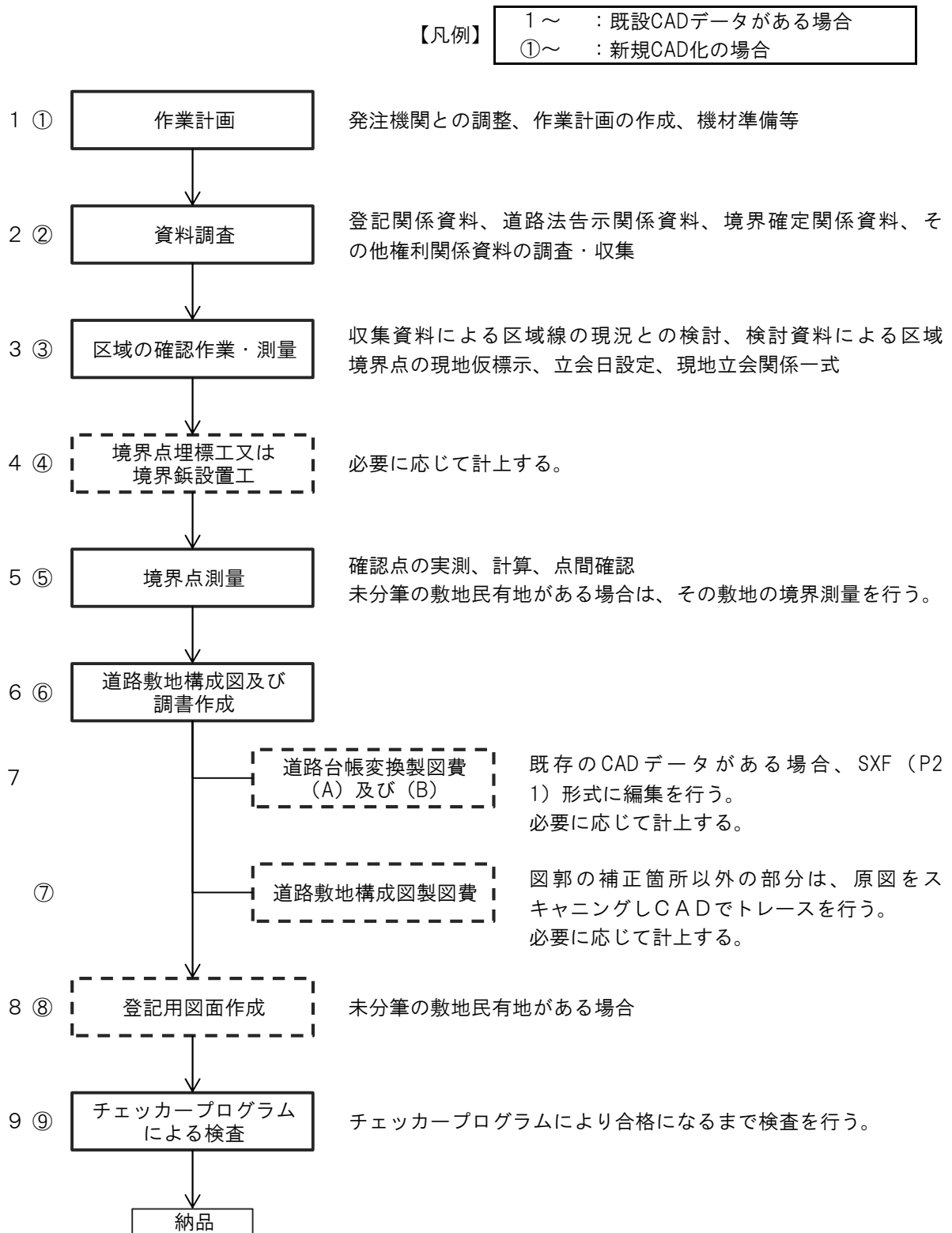
【左図凡例】

-  測量範囲
-  図郭の補正箇所以外の部分

2. 地下埋設物台帳平面図関係フローチャート



3. 道路敷地構成図関係フローチャート

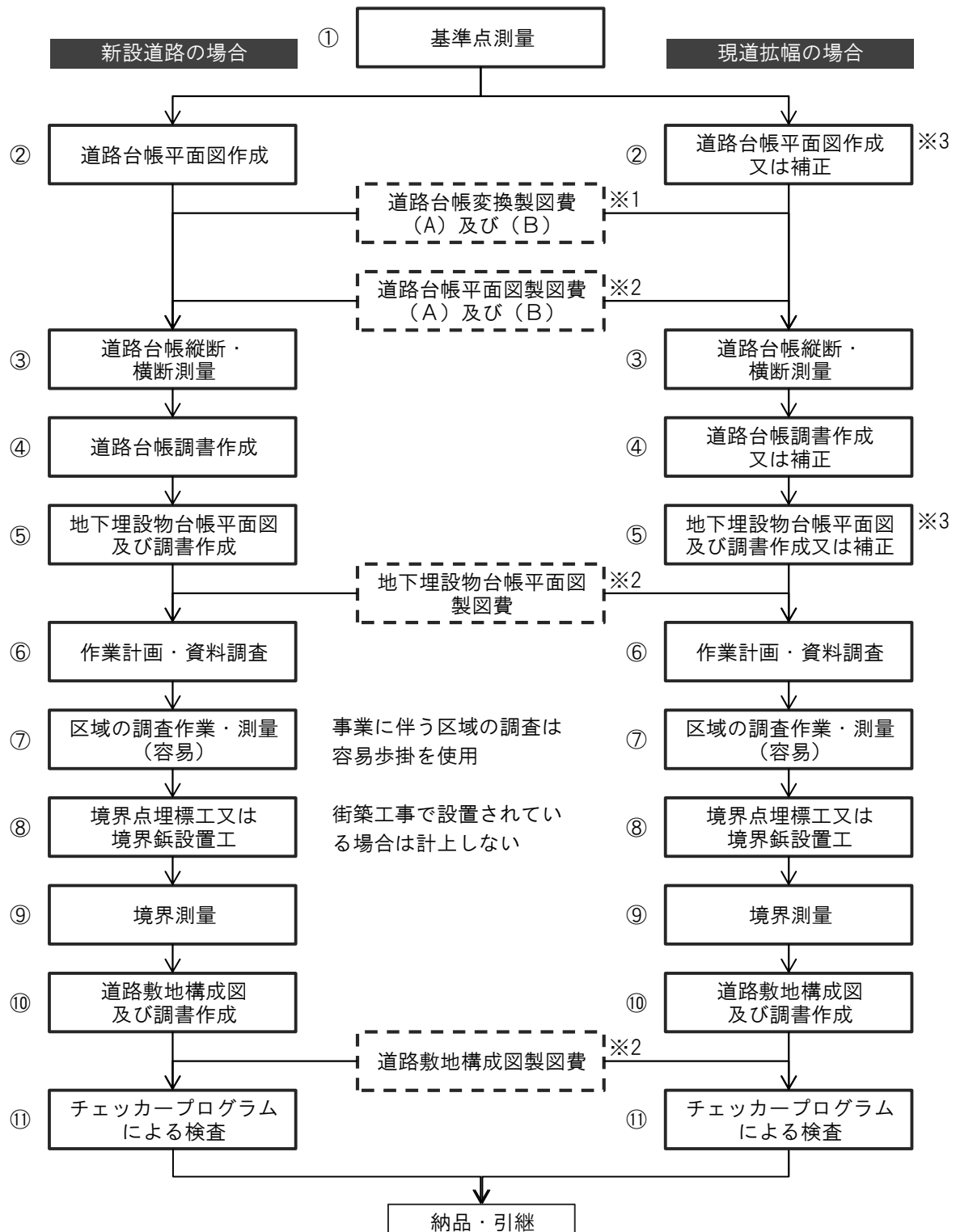


※ 本フローチャート1～3は標準的な作業の流れを示した。

委託の設計、積算にあたっては以下の基準類による。

- ・ 「東京都工事施行規程」「設計基準総則」「委託基準」
- ・ 「東京都公共測量作業規程」「測量委託標準仕様書」

4. 事業完了等に伴う道路台帳作成標準フローチャート



※1) 既存のCADデータがある場合、SXF (P21) 形式に編集を行う。必要に応じて計上する。

※2) 図郭の補正箇所以外の部分は、原図をスキャニングしCADでトレースを行う。必要に応じて計上する。

※3) 新規作成か補正かの別は、管理担当課と調整のうえ決定する。

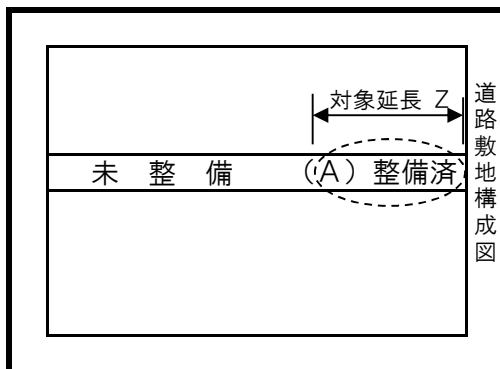
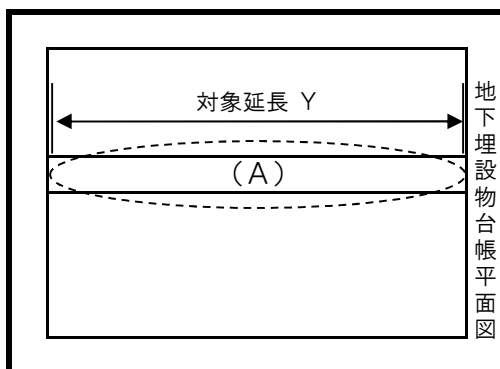
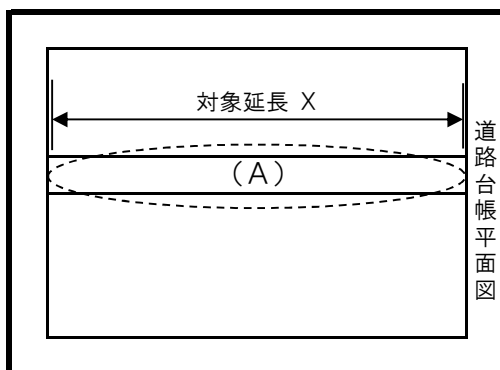
5. 道路台帳変換製図関係フローチャート

一図郭において道路台帳図のいずれかが既設CAD化されている場合

- ① 道路台帳変換製図費 (A)
平面図・地下埋・敷調図のそれぞれCAD化されている延長を合算し計上する。
例) 平+地の場合: $X+Y$
例) 平+敷の場合: $X+Z$

- ② チェッカープログラムによる検査

納品

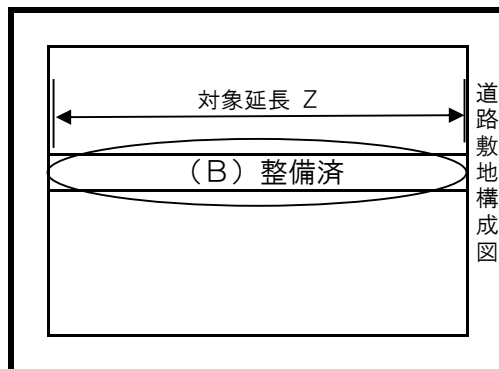
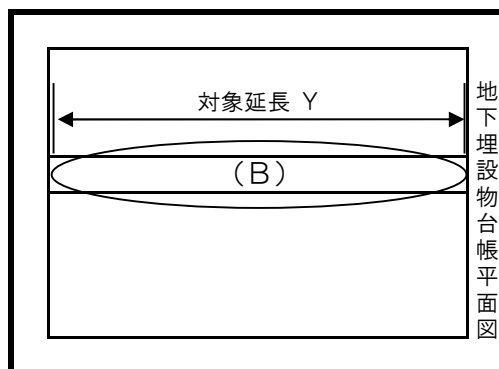
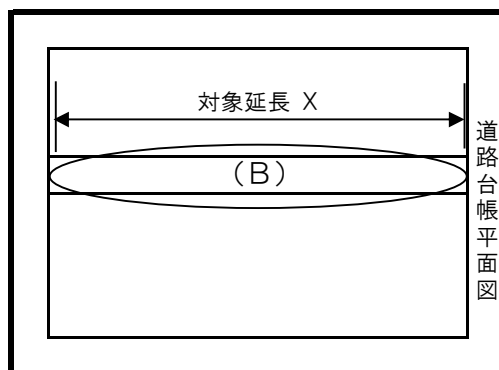


3種類全ての全区間が既設CAD化 (敷調が整備) されている場合

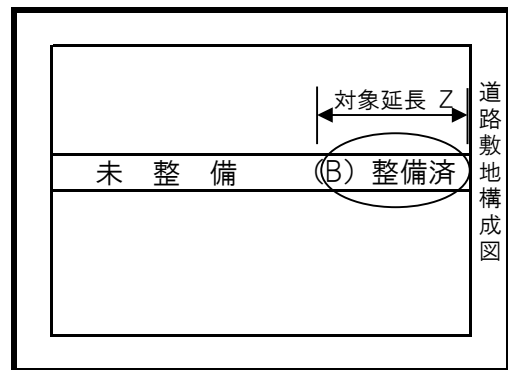
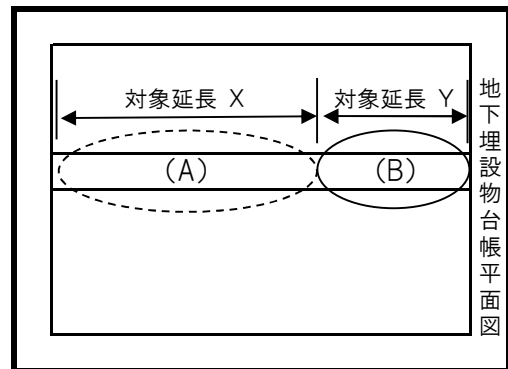
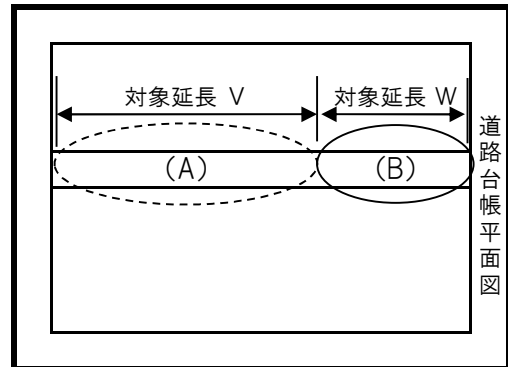
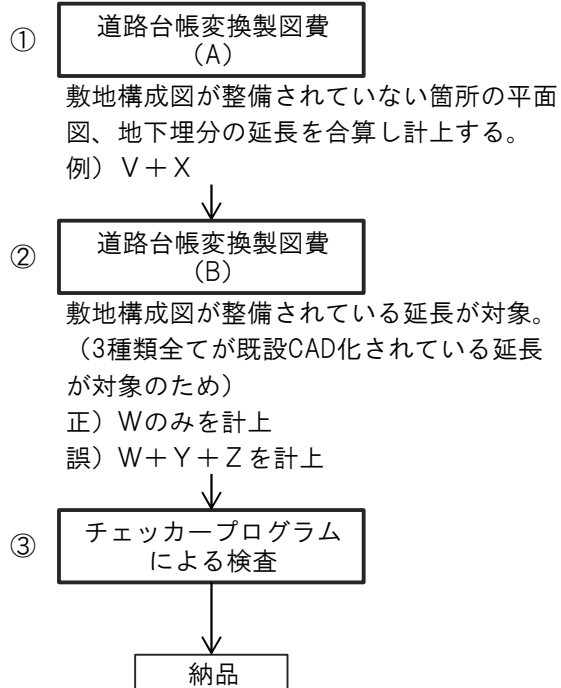
- ① 道路台帳変換製図費 (B)
3種類全ての全区間が既設CAD化されている場合、変換製図費 (B) で計上する。
正) 対象延長 X のみ計上
誤) 対象延長 $X+Y+Z$ を計上

- ② チェッカープログラムによる検査

納品



一図郭において道路台帳図3種類全てが既設CAD化されている場合



【右図凡例】

○ 道路台帳変換製図費 (A)

○ 道路台帳変換製図費 (B)